

## 平成26年度 第4回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成27年2月19日（木）18:30～20:20

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 9名…柏崎、浅羽、井上、神津、澤田、古田、前川、吉田（正）、井手之上  
欠席者 3名…根本、早川、吉田（弘）  
事務局 2名…市民生活課 山中、川瀬  
指定管理者 2名…NPO法人 YMCA コミュニティサポート 高橋、沼崎  
傍聴者 3名

配布資料 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声  
2 のたろんフェア 2015 報告  
3 運営懇話会構成員の改選について  
4 YMCA コミュニティサポート 2015 年度事業方針・計画書（案）  
5 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体  
6 平成27年度運営懇話会日程（案）

### 1 報告事項

#### 1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・ここ3年伸び率が鈍化している。今年度も前年度比微増となる見込みだが、利用団体数は減っている月もある。イベント実施に伴う利用者数だけでなく、経常的な利用団体を増やす取り組みが必要。
- ・印刷機の製版ズレについてご意見があったが、再現できなかったため様子見とする。
- ・写真部分の印刷については前機種に比べてクリアに出ないことがある。パソコンから直接製版する方法を次年度から対応できるように検討したい。ただし、スタッフがつきっきりで見ることは難しいので、パソコン製版を希望する団体向けの講習会など、何らかの方法を考える。
- ・館内が暗い、という意見があった。東日本大震災以降節電のため電灯を間引いている。年配の方の利用も多いので、声をかけていただければ、周りの電灯も点けて対応している。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・ワーキングコーナーの利用が多いので、設備の見直しを検討中。予算確定後お知らせする。利用団体も固定化の傾向。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・節電のために電灯を間引いている、という掲示は行っているのか。

→掲示はしているが、時間がたつと気にしなくなってしまうのは確か。新鮮なものとして目に映るよう周知の方法を考えたい。(指定管理者)

- ・テーブルの上にお知らせを新たに置くなど、工夫しては。

## **1-(2) のたろんフェア 2015 報告**

指定管理者から資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・今回ののたろんフェアでは運営懇話会もパネル展示を出し、名札を付けて参加いただいた。
- ・サポセンとショッパーズプラザの来場者数を合わせて2日間で7,809人だった。
- ・2日目は雨が降ったので、外のテントで出店していた団体に一部館内へ移動してもらった。
- ・学生からシニアまで幅広い世代のボランティア、100名近くに支えられてフェアが開催できた。
- ・いろいろなブースを回ってもらうため、スタンプラリーを毎年実施している。今年度はパネル展示コーナー、フリーマーケットコーナー、館外の飲食ブースコーナーのすべてを回ってクイズに答えないと景品がもらえない、というシステムにしたところ概ね好評だった。
- ・3年前からフェアで募金と署名活動を行えるようにしたが、今年度は募金のみ申請あり、署名活動は行われなかった。
- ・東日本大震災復興支援ブースでは商品完売。
- ・決算は明日2月20日行われる写真コンテスト表彰式、交流会が済んでから確定する。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・実際に中にいると、報告にあるほどの多くの来場者があったような気がしない。イベントとしての来場者カウントの方法によるのかもしれないが。
- ・全体的には素晴らしい運営ができたと思う。
- ・ミニ体験コーナーが例年になく盛り上がっていたようで良かった。
- ・懇話会メンバーとして、のたろんバッチをつけて参加した。懇話会についてもっと質問があればよかったと思う。
- ・市長と話す車座会議は、サポートセンターや市民活動に直結した話で良かった。
- ・ミニ体験コーナーは通路に面しているのので、椅子の出し入れがスムーズにできると良い。
- ・レターケースの上の展示は目立たなかった。「ミニ展示コーナー」などのタイトル掲示があってもよかったのでは。
- ・パネル展示コーナーは、次回もう少し動線を考えないと素通りになってしまう。
- ・館外ブース前の路上駐車が気になった。ブースにお客が並んで、通路をふさいでしまうこともあった。参加団体には「公共の場を借りている」という意識を持ってほしい。実行委員会からの声掛けが大事。
- ・懇話会としてのたろんフェアに初めて携われたことも良かった。
- ・最初や最後の挨拶に参加せずに自分のブースにかかりきりだった団体がいたことが残念。運営ボランティアに任せきりではなくて、自分のブースの机や椅子の片付け程度はお願いしてもいいのでは。それぞれが全体の運営にもう少し協力いただければ、みんなで作り上げているという感じが出ると思う。

### 1－（3）運営懇話会構成員の改選について

事務局から資料3に沿って報告した。

（事務局）

- ・本来第3回懇話会で提示するものであったもの。2月2日からすでにこの要領で募集を開始している。事後承諾となったことについてお詫び。
- ・現在懇話会の構成員は要綱で15人以下と定められており、現構成員は25年度に13人でスタートしたが、途中で一人退任され、補充を行わず今年度末までは12人で会を運営してきた。今回の改選で13人に戻す予定。
- ・市民生活課長を除く構成員は全員公募であり、会の継続性を保つため改選時の座長と座長職務代理を除く構成員を改選する、という手法を取っている。

（座長）

- ・現在古田さんに座長職務代理をお務めいただいているが、今年度末で懇話会を退かれるつもり、とのこと。残念ではあるが、ご意思は固いようなので、来年度の座長職務代理として、現構成員より澤田さんをお願いしたい（→全員了承）。

### 1－（4）自動販売機設置について

事務局から現在の状況について報告した。

（事務局）

- ・サポートセンターに設置している自動販売機に関して、公共施設からできるだけ歳入を得ていくという市の方針と、設置事業者の選定にあたって透明性を確保する必要から見直しを行った。
- ・8月の懇話会では、紙コップ型は維持したい、ただしリサイクルが浸透してきたこともあり、デポジット式の回収機にこだわらないという意見をいただいた。
- ・この結果、紙コップ回収機付き、という条件を外し、自動販売機の売上げにかかる手数料率について、複数の事業者を対象に見積合せを行い、事業者を選定することとした。
- ・自動販売機の設置場所は現在の小部屋から外に出し、小部屋はカーテンを取りつけて授乳スペースとする予定。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・これまではエコやリサイクルを重視する、ということで回収機付き紙コップ自動販売機を設置していたのだと思うが、今後は回収機がなくなるということで、そういった設置目的はなくなってしまうのか。  
→その通り。（事務局）
- ・回収機をなくしても市としては自動販売機を継続して設置するということか。  
→8月の懇話会でも意見をいただいたとおり、紙コップの自動販売機はある一定の需要があるので、自動販売機そのものをなくすことはしない。（事務局）
- ・自動販売機を外に出した後、小部屋を授乳スペースにする予定、とのことだが、カーテンだけで

は中が見えてしまうのでは。

→授乳中という札を掛けるなど、プライバシーが守られるよう工夫していきたい。(指定管理者)

- ・総合福祉会館にも授乳スペースがあるが。

→総合福祉会館の利用者には良いが、位置的に一般の方に利用しづらい。

子ども連れの親御さんたちのグループにサポートセンターを知ってもらいたい、ということもある。(指定管理者)

## **1－(5) 平成 27 年度事業計画について**

指定管理者から資料 4 に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・事業計画はこの時点から現在までに既に若干修正が加えられている。3 月末の YMCA の理事会で決定され、その後の総会で報告されるもの。
- ・当資料は NPO 法人 YMCA コミュニティサポートの法人としての事業方針・計画であるため、サポートセンターの管理運営業務と、サポートセンターを中心とした自主事業と、NPO 法人としての独自事業がすべて含まれている。

<個別の計画について既に変更している部分>

- ・相談業務に専門性を高めていくため、土業ボランティアなど外部の人材を借りていきたい。
- ・若者ボランティアの育成については横浜市立大学と神奈川歯科大学にもアプローチしていく予定。
- ・多目的ルームの使い方の見直しを検討したい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・事業方針の 2 番目に地域課題・社会的課題解決のための事業展開を行う、とあるが、横須賀市の現在の課題は人口減で、子育てを重視していこうということが市長の所信表明でもあった。サポセンでも子ども関係の登録団体は多く、子育て支援を重視した事業計画、行政と団体との仲立ちができるような形を考えていただければ。

→サポートセンターとしてはすべての団体に対して平等であることは必要だが、カテゴリ別の支援は有効だと考えている。現在もチャイルドファクトリーやキッズひろばなどは、子育て支援団体とサポートセンターとの共催で実施しており、今後も広げていきたい。(指定管理者)

(座長)

- ・この件については来年度の懇話会でも取り上げる予定。

## **2 議題**

### **2－(1) データベース登録団体と公益性の判断について**

指定管理者から資料 5 に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・活動目的の中の言葉の使い方、差別的にとられる人がいるのでは。

- 団体自身が記入してきた内容にどこまで修正してもらうように言えるか、という問題はあるが、一言断って修正することはできると思う。（指定管理者）
- 本資料は市のホームページでも公開になるので、前もって団体に助言することをお願いしたい。（事務局）

### 3 その他

#### 3-（1）平成 27 年度運営懇話会開催日時について

事務局から資料 6 に沿って説明した。

#### 3-（2）市民協働推進補助金・企画提案型モデル事業応募状況等について

事務局から応募状況とプレゼンテーションの日程について説明した。

#### 連絡事項

（事務局）

- ・平成 27 年 2 月 15 日に市民表彰があった。市民公益活動に貢献された団体として、運営懇話会でご意見をいただいた候補から指定管理者に 3 団体を推薦いただき、「横須賀歩け歩け協会」「シニアネット横須賀」「よこすか市民会議（YCC）」が表彰された。
- ・その他のカテゴリにおいてもいくつかのサポートセンター登録団体が表彰されたので、市ホームページでご覧いただきたい。

以上